

## 消費者保護

- [1] 消費者が生産のあり方を最終的に決定する力をもっている、という考え方を何というか。消費の動向が、市場機構を通じて生産のあり方を決めるべきだ、とする考え方。
- [2] 1962年アメリカ大統領ケネディは、四つの消費者の権利を認め、消費者行政を推進する宣言をおこなった。四つの権利とは何か。選択できる権利、意見が聞かれる権利の他に二つ答えなさい。
- [3] 1960年代、消費者の四つの権利を認め消費者行政を推進する宣言をおこなった人物はだれか。
- [4] 消費者の立場を保護するために、国や地方自治体および企業の責任を明記した法律を何というか。1968(昭和43)年制定。
- [5] わが国で消費者保護基本法が制定されたのは何年か。
- [6] 消費者が団結して、消費生活の防衛・改善・充実をはかろうとする運動を何というか。当初の運動としては、欠陥商品・有害商品などの告発や不買運動などがあつた。
- [7] 今日の消費者運動は、大きく二つの方向がある。何と何か。
- [8] 訪問販売や割賦販売で、強引な勧誘にのせられて契約してしまった場合でも、一定期間内なら無条件で契約を取り消せる制度を何というか。
- [9] 生産者が卸・小売価格を決めて販売し、この価格を守らせようとする制度を何というか。消費者を守る立場から、公正取引委員会は原則としてこれを認めていない。
- [10] 消費者が、企業や販売人からこうむる被害をひとまとめにして何というか。森永ヒ素ミルク事件・サリドマイド事件・スモン事件などは典型的な例。
- [11] 訪問販売等に関する法律で、連鎖販売取引として禁じられているネズミ講式販売方法を何というか。
- [12] あとで返す約束をして、お金を借りることを何というか。借りる人が個人の場合、消費者金融ともいう。
- [13] 商品を買って、その代金をあとで支払うことを何というか。
- [14] ローンとクレジットを合わせて何というか。ローンもクレジットも借金であり、将来の収入から返済することになる。
- [15] 欠陥商品によって消費者が損害を受けた場合、メーカーに損害賠償を負わせることができる法律を何というか。消費者保護の立場から、商品の欠陥が明らかになればメーカーに責任を負わせる。1995年から
- [16] PL法の日本語訳名は何か。
- [17] 経済活動にともなう、不特定多数の人びとに、肉体的・精神的・経済的な被害をあたえることを何というか。生活環境が破壊されて被害が発生するもの。
- [18] 公害対策基本法であげている公害は七つあつた。悪臭・騒音・振動のほかにとどのようなものがあつたか、四つ答えなさい。
- [19] 公害対策基本法では取り上げられていないが、生活環境が破壊されるとして問題になっていた公害を、二つ答えなさい。
- [20] 企業の生産活動にともない、産業廃棄物などによっておこる公害を何というか。
- [21] わが国で産業公害がおこつたのは、どのような経済成長の時期であつたか。
- [22] 都市の過密からおこる公害を何というか。車の騒音・振動や排気ガスによる大気汚染、家庭用洗剤による水質汚濁など。
- [23] 日本の公害の原点とされる明治期の事件を何というか。この事件の解決に努力した人物が田中正
- [24] 戦後の高度成長にともなう発生した、四大公害とは何か。
- [25] 1953(昭和28)年ごろから60(昭和35)年にかけて発生した水俣病は、昭和時代における日本の公害の原点である。発生した地域を答えなさい。
- [26] 水俣病の原因を答えなさい。
- [27] イタイタイ病は、骨がもろくなり「痛い痛い」といって死んでいくところからつけられた通称である。この公害が発生した地域を答えなさい。
- [28] イタイタイ病の原因を答えなさい。
- [29] 新潟水俣病は、四大公害裁判のなかでいちばん最初に裁判にもちこまれた事件である。この公害が発生した地域を答えなさい。
- [30] 1961(昭和36)年ごろから四日市市の石油コンビナート周辺でおきた公害が、通称四日市ぜんそくとよばれるものである。この公害の原因を答えなさい。
- [31] 公害関連費用は、公害をひきおこした汚染者が負担すべきである、とする原則を何というか。1972年、OECDの環境委員会で決議されたもの。
- [32] PPPの日本語訳名は何か。
- [33] OECDの環境委員会でPPP(汚染者負担の原則)が決議されたのは何年か。
- [34] 故意や過失の有無にかかわらず、公害による被害が発生した場合、発生源の企業にその損害を賠償する責任を負わせる考え方を何というか。日本では、1972(昭和47)年に確立した。
- [35] 企業の生産活動によって、市場を通さずに直接第三者に不利益をあたえることを何というか。大気汚染などの公害が典型例。
- [36] 公害のような外部不経済を処理する費用を何というか。たとえば不特定多数者によって河川が汚染された場合、それをきれいにするのは、社会全体の費用でまかなっている。
- [37] 国民はすべて良好な環境のもとで生活する権利がある、とする考えを何というか。日照権は、この代表
- [38] 環境汚染の最大許容限度のことを何というか。これは、自然のもつ浄化作用の能力をこえないことが必要である。

[39] 工場の排煙や排水などにふくまれる有害物質の濃度を制限して、環境汚染を防止しようとする何を規制というか。

[40] 濃度を規制する環境基準では、全体として自然のもつ浄化作用の能力をこえてしまう場合がおこる。そこで全体の汚染量を規制しようとする何を何というか。

[41] 地域開発や公共事業をおこなう場合、事前に自然破壊度や影響を調査して、公害発生を未然にふせぐための評価制度を何というか。1997年、この制度についての法律が制定された。

[42] 公害防止と資源の有効利用をめざして、廃棄物から有用物質を回収したり、廃棄物をエネルギーにかえようとする何を何というか。

[43] 国や地方自治体を実施すべき、公害防止や救済策を定めた法律を何というか。国民の健康や生活環境を守るための基本的な法律。1967(昭和42)年に制定されたが、93年環境基本法の制定により廃止された。

[44] 地方自治体と企業とのあいだで締結する公害防止のための取り決めを何というか。公害防止対策の有効な手段となっている。

[45] 環境問題は、世界的な規模で考えるべきであるとして、「かけがえのない地球」をスローガンに、1972年ストックホルムで開かれた会議を何というか。

[46] 「かけがえのない地球」をスローガンに国連人間環境会議が開催されたのは何年か。

[47] 国連人間環境会議で採択された宣言を何というか。国際的に公害を防止して、人間の住みよい環境をつくるための宣言。

[48] 先進国の企業が、国内のきびしい環境基準からのがれて、まだ環境政策が不十分な発展途上国で生産活動を展開することを非難して何というか。

[49] 大気中の二酸化炭素の増大でおこっている、地球環境の変化を何というか。石炭や石油の使用増大や、森林の伐採などによっておこっている。

[50] 森林や草原が、植物の育たない不毛の土地に変化することを何というか。家畜の過剰な放牧や森林の伐採などによって拡大している。

[51] オゾン層を破壊し地上への紫外線の量がふえるとして、国際的な使用規制をしようとしている問題を何というか。国境をこえる国際的な公害問題となっている。

[52] オゾン層保護のための対策の、国際的な枠組みを定めた条約を何というか。1985年に採択された。この条約にもとづいて、モントリオール議定書が採択されている。

[53] 大気中のイオウ酸化物やチン酸化物が雨水に溶け込んで地上に降り、森林などに被害をおよぼす雨のことを何というか。国境をこえる国際的な公害問題。

[54] 1992年ブラジルのリオデジャネイロで開かれた、環境と開発に関する国連会議を何というか。1972年のストックホルムでの会議の20周年を記念して開かれた。

[55] リオデジャネイロで地球サミットが開催されたのは何年か。

[56] 地球サミットで採択された、地球温暖化防止のための対策の、国際的な枠組みを定めた条約を何というか。温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を規制しようとしている。

[57] 地球サミットでは、開発に関する諸原則が「環境と開発に関するリオ宣言」として採択された。開発に関する国連の考え方は何と表現されているか。

[58] 21世紀に向けて、リオ宣言を遵守し実行するための、具体的な行動計画をまとめたものを何というか。

[59] 地球サミット後の1993年、わが国でも地球環境の保全を視野に入れた、新たな法律が制定された。これを何というか。この法律の制定により、公害対策基本法は廃止された。

## 消費者保護 [模範解答]

- [1] 消費者主権
- [2] 安全を求める権利, 知らされる権利
- [3] ケネディ
- [4] 消費者保護基本法
- [5] 1968年
- [6] 消費者運動
- [7] 生活協同組合の運動 消費者保護行政の推進
- [8] ケーリングオフ制度
- [9] 再販売価格維持制度
- [10] 消費者問題
- [11] マルチ商法
- [12] ローン
- [13] クレジット
- [14] 消費者信用
- [15] 製造物責任法
- [16] 製造物責任法
- [17] 公害
- [18] 大気汚染, 水質汚濁, 土壌汚染, 地盤沈下
- [19] 放射能汚染 農薬汚染
- [20] 産業公害
- [21] 高度経済成長
- [22] 都市公害
- [23] 足尾銅山鉍毒事件
- [24] 水俣病, イタイイタイ病, 新潟水俣病, 四日市ぜんそく
- [25] 熊本県水俣湾周辺
- [26] 有機水銀
- [27] 富山県神通川流域
- [28] カドミウム
- [29] 新潟県阿賀野川流域
- [30] 亜硫酸ガス
- [31] 汚染者負担の原則
- [32] 汚染者負担の原則
- [33] 1972年
- [34] 無過失責任主義
- [35] 外部不経済
- [36] 社会的費用
- [37] 環境権
- [38] 環境基準
- [39] 濃度規制
- [40] 総量規制
- [41] 環境アセスメント
- [42] リサイクル
- [43] 公害対策基本法
- [44] 公害防止協定
- [45] 国連人間環境会議
- [46] 1972年
- [47] 人間環境宣言
- [48] 公害輸出
- [49] 温暖化
- [50] 砂漠化
- [51] フロンガス規制の問題
- [52] ウィーン条約
- [53] 酸性雨
- [54] 地球サミット
- [55] 1992年
- [56] 気候変動枠組み条約
- [57] 持続可能な開発
- [58] アジェンダ21
- [59] 環境基本法